

Interview

映画監督

平山 秀幸

ホワッと観て ホクッと… そんな映画でありたい



大人の人生にそっと寄り添ってくれるあたたかい映画が誕生しました。人は、誰だって幸せを求めています。けれど、長い人生、幸せを見失ってしまうことだってある。そんな時は、立ち止まってもいい。少し立ち止まって、また歩き出せばいい。この映画は、脚本家 安倍照雄によるオリジナルストーリーを、『愛を乞うひと』『閉鎖病棟—それぞれの朝—』など、さまざまな視点から人生を描いてきた平山秀幸監督が映像化。旧知のふたりが10年以上あたたため続けてきた人生讃歌の物語です。過去を抱えながらも「今」を生きる主人公・五十嵐芙美の姿を、これから訪れるであろう幸せや希望を、爽やかに映し出しています。

<キャスト>

小林聡美 平岩紙 斎藤汰鷹 江口のりこ
桃月庵白酒 水間ロン 鈴木聖奈 瀧川鯉昇
渋谷清彦 / 泉谷しげる / ベンガル
松重豊

<スタッフ>

監督：平山秀幸 脚本：安倍照雄
音楽：安川午朗 主題歌：中山千夏「あなたの心に」(ピクチャーエンタテインメント)

配給：東京テアトル

公開日：4月29日(金・祝)全国公開

©2022「ツユクサ」製作委員会

歯科治療シーンで
男女の心情を表現

歯の治療を受ける時は、他の治療と違って「痛い、怖い」などのイメージがついて回ります。僕も、積極的には行きたくない、仕方なく、などの気持ちで病院に行きます。怖くても痛みを止めてほしいと考えます。そのためには、お医者さんに全面的な信頼を置かなければいけません。芙美が吾郎に歯の治療をしてもらうシーンがありますが、芙美の痛みだけでなく、男と女として、芙美の吾郎に対する信頼と、信頼される吾郎の心情を少しデフォルメしたようなシーンだと考えています。

—映画の主題歌「あなたの心に」は1969年と、かなり以前の曲ですが、現在聴いても新鮮で、素敵な昭和歌謡に出会えた感があります。映画で重要な位置付けの選曲についてもお聞かせください。

この曲は1969年に大ヒットした曲です。昔はパチンコ屋や、町のいたるところから歌謡曲などの音楽が流れて来ていました。好き嫌い関係なく、町中に音

今回、インタビューでご紹介させていただきました平山秀幸監督のサイン入りの文庫版『ツユクサ』を会員5名様にプレゼントさせていただきます(お1人につき1冊まで)。
ご希望の会員は、官製はがきに「文庫 ツユクサ希望」と明記し、必ず以下の4点を記入のうえ、協会プレゼント係までご応募ください(複数応募不可)。応募締め切りは5月17日(火)です(消印有効)。当選発表は、書籍発送をもって代えさせていただきます。

【応募はがき記載事項】

①氏名 ②会員番号 ③電話番号 ④住所

応募送付先 〒169-0075 新宿区高田馬場1-29-8

いちご高田馬場ビル6階 東京歯科保険医協会

文庫版『ツユクサ』プレゼント係まで



写真＝東京歯科保険医協会撮影

ひらやま・ひでゆき 1950年生まれ。福岡県出身。「マリアの胃袋」(1990)で監督デビュー。

「ザ・中学教師」(92)で日本映画監督新人賞を受賞した後、「学校の怪談」(95、96、99)シリーズが大ヒット。また「愛を乞うひと」(98)で第22回モントリオール世界映画祭国際批評家連盟賞、さらに第22回日本アカデミー賞では最優秀作品賞と最優秀監督賞を獲得するなど、その他にも手掛けた作品は国内外で高く評価される日本映画界を代表する監督。近年も「閉鎖病棟—それぞれの朝」(19)で、第44回日本アカデミー賞の優秀監督賞と優秀脚本賞を受賞し、今後の活躍が一層注目されている。



© 朝日文庫